

令和7年度 学生FD CHAmmit 学部で対応可能な意見に対する報告書

学生意見の集約

実施日	実施内容
令和7年6月30日	<p>【具体的な実施方法】学生生活委員会が所管として年2回開催している「教員と学生との懇談会」1回目を学部内ディスカッションの場として対面で同時開催した。</p> <p>【参加学生（学科・学年・氏名）】1～6年生，大学院生のクラス代表者及びサークル代表者，桜葉祭実行委員会代表者の計12名の学生が参加した。そのうち，3名が学生FD CHAmmitに参加する。</p>

学部で対応可能な意見

※学生FD CHAmmit当日，以下の内容を基に，参加学生からご説明いただきます。

学生からの意見（学部・学科の問題点）	対応済	対応中	問題解決のプロセス
<p>1</p> <p>【意見】 6号館の教室を換気できるようにしてほしい。 また，17時以降の課外講義の際に空調が止まることあるため，講義中の空調管理を徹底してほしい。 3号館及び6号館の暖房が弱く，研究室が寒い ため改善してほしい。</p> <p>【理由・経緯】 授業中，空気がこもって頭が痛くなったり， 気持ち悪くなったりすることがあったため。 3号館と6号館は，冬場1階が冷え込むが，全館 で温度設定がされており，階や場所により寒 暖差が激しいため。</p>	○		<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 講義中は移動することができないため，寒さや暑さを我慢せざるを得ないが，そのような状況だと講義に集中することができない。一つの教室で1学年（約250人）が受講する授業の場合は，人口密度が高いため，湿度が上がることもある。逆に研究室は人が少ないため，冬場は寒く感じることもある。 学生の教育環境及び研究環境を良くすることで，より集中して取り組むことができ，学部全体の学力及び研究力の向上に繋がる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 全館で空調の設定温度を行っているわけではないが，省エネルギー化を考慮して，極端な温度設定を防止するために制限をかけている。教室の温度設定については，教務課の教室確保状況の確認徹底と，空調を管理する管財課の連携が必要である。 研究室の冬場の寒さについては，安全性を考慮した上で，別途，電気ストーブなどを設置するなどして対応が必要である。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 授業の終了時間と課外講座の終了時間が異なるため，終了時間の把握ができていない場合がある。授業や講座の実施時間は教務課で把握しているため，教務課と空調管理を行う管財課の連携が必須である。また，気温や湿度は日によって違い，温度設定を人の手で行っているため，必ずしも常に快適な状況にするのは難しい。自動空調システムの導入なども検討する必要があるが，大規模な工事となるため，すぐに実現することは難しい。</p>
<p>2</p> <p>【意見】 授業資料を出すのを早くしてほしい。 資料変更する場合は，ポータルで連絡が欲しい。 LMSの小テストのフィードバックをしてほしい。</p> <p>【理由・経緯】 当日の朝に資料が出て印刷して家から持ってこれないため。いつの間にか変更されていて変更気付けないため。 フィードバックがないため，勉強に活用できないため。</p>	○		<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 講義資料を事前に出すことで，授業の際に印刷した資料を持っていくことができる。また，授業直前に印刷室が混雑することがなくなる。 フィードバックをすることで，定期試験などの勉強に活用することができる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 教務課より教員へ前日までにLMSへ資料を公開するよう依頼しているが，再度，周知を徹底する。学生と教員との懇談会終了後に全教員へ「講義資料のLMS公開」及び「LMS上の小テストのフィードバック」について，周知した。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 教員への講義資料公開の周知を行っているが，講義資料の公開は科目担当者が各自，行っているため，すべてを改善することは難しい。</p>
<p>3</p> <p>【意見】 フリースペースでの迷惑行為（居眠り・ゲーム・大声でしゃべるなど）を注意してほしい。 印刷室の使用を早朝・土曜午後もできるようにしてほしい。 自習スペースを日曜も開けてほしい。</p> <p>【理由・経緯】 フリースペースを利用したいが，迷惑行為をしている学生がいるため，使用できないため。 早朝や土曜午後に印刷機が使用できると，講義前に印刷できるため。 日曜日でも学校で勉強した方が集中できるため。</p>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 薬学部には図書館と自習スペースの2カ所で個人的に勉強できる場所が設置されているが，学生が集って勉強する場所はフリースペースしかない。学生が集って勉強できる場が確保されることで，学生の勉強意欲にもつながり，学力向上につながる。 また，印刷室は講義資料を印刷できるが，9時～17時のみ開設しており，1限の授業前の印刷はできない。8時から開室できれば，1限の科目の講義資料も事前に印刷することができる。土曜の午後も同様である。 国家試験の勉強のため，日曜日に自習スペースを開放してくれると，勉強に集中でき，国家試験合格率の向上につながる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 現在のフリースペースは，学生からの要望で1号館及び8号館に令和5年度末に設置したが，使用にあたり明確なルールが定められていない。そのため，今回のような迷惑行為をする学生が出てきており，フリースペースの存在自体がトラブルの原因に繋がっている。 ルールを明確にし，各フリースペースに掲示を貼ることや，ポータルサイトなどで周知が必要である。また，エリアを学生が自由に集う場所，勉強を友人と会話しながらする場所，個人で勉強する場所，と分けを検討すべきである。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 薬学部のキャンパスはコンパクトなため，フリースペースを設置するにあたり，講義室のすぐ近くに設置するしかなく，これにより，勉強したい学生と友達と楽しみたい学生が混在し，トラブルが発生している。 図書館や自習スペースでは会話ができないため，本来はフリースペースを友人と一緒に学べる場として提供すべきである。今後は，フリースペースの制限を行うため，学内全体で話し合い，解決に向けて動いていく必要がある。 また，早朝や土曜の午後，日曜日など事務局が閉室している時間の施設の開放は，トラブルが起きた際の対応や光熱費など費用がかかる面もあるため，学内全体で検討する必要がある。過去に自習スペースを日曜に開設したこともあったが，利用率は低かった。</p>

令和7年度 学生FD CHAmmit 学部で対応可能な意見に対する報告書

学生FD CHAmmit（令和7年9月14日(日)開催）後に改善した意見

学生からの意見（学部・学科の問題点）	改善内容
3	<p>フリースペースでの迷惑行為（居眠り・ゲーム・大声でしゃべるなど）を注意してほしい。</p> <p>フリースペースについては、学生生活委員会で検討審議し、以下のとおり、全学生へポータルにてお知らせ（令和8年1月15日掲示済み）と学部要覧へ掲載（令和8年度入学生より対応予定）した。</p> <p>薬学部におけるフリースペースについて</p> <p>薬学部では、学生の皆さんが授業準備や友人との勉強、サークル活動の打ち合わせなど、コミュニケーションを図る目的で、自由に集う場所としてフリースペースが設けられています。</p> <p>利用については、誰もが利用しやすいようにするために、必ず下記のルールを守ってください。ルールが守れない場合には、利用中止や制限を設けることがあります。急患が発生したり、火災その他の災害、盗難、紛失等が生じた場合、学生課にご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 長時間、荷物を置いたまま離席しないでください。 ✓ 大きな声での談笑や音楽を流す行為は控えてください。 ✓ 講義の妨げになる行為は行わないでください。 ✓ 大人数での長時間の占有はご遠慮ください。 ✓ 皆で利用するため積極的に美化に務めてください。 ✓ 飲食等が出たごみは、片付けてください。